



「ストップ！気候危機」で 所沢の未来をみんなで作ろう

「市民会議(仮)」準備会の呼びかけ

2022.4.10 sun. 14:00~16:00 小手指公民館 分館 ホール

危険な暑さ、集中豪雨、海外の熱波・山火事など、近ごろ何かおかしいなと思うことはありませんか？ ニュースで耳にしても、たまたまその年だけなのではと見過ごしていることが多いと思いますが、その一方で私たちが暮らす所沢にも、地球温暖化の影響について不安を感じている人がたくさんいます。

世界に目を向けると、年平均気温は世紀をまたいで上昇を続け、IPCC*の報告ではCO₂等による温暖化は疑う余地はないとされています。最新の知見では、2030年頃には気候変動が後戻りできない転換点（ティッピングポイント）に達するとされています。

30代の母親はわが子が大人になった時に生きていけるのだろうか…と不安に思い、大学生は自分の生活が他の国の人々を苦しめていることに罪悪感があると言っていました。注目すべきことは、この危機的な状況が人々の活動によってつくられたことです。人間によって起きてしまったことは、人間によって再生するしかありません。今を生きる私たちの行動が、未来世代の生活に影響を与えます。

去年12月5日の「ストップ！気候危機 どうする？所沢のゼロカーボン」と題した討論集会では、老若男女、多様な市民が対話を繰り返すことで、今、そして未来を変えることができると感じられました。私たちは人間らしく生きていける持続可能な所沢を望んでいます。

そのために、理解を深めたり、CO₂削減の方法を考えたり、実行したりするための市民の会議体をつくりたいと思っています。このための準備会を呼びかけます。あなたが普段考えていること、実践していることなどをぜひ教えてください。所沢に暮らすあなたの参加で、想いを共有しましょう。

■日時：2022年4月10日 14時~16時(開場13時30分)

■場所：小手指公民館分館ホール

■趣旨：気候危機についての、思いや「市民会議」の方向性、今後の取組み、設立において各々の意見交換をします。

■運営：参加者全員が多様性を尊重し、自分事として語りあい、何をするか決めます。

■呼びかけ人：所沢のあすを考える市民フォーラム／

地球環境に学ぶサークル／所沢市民ソーラー／小出

■連絡先：080-5002-1133 (大江)

※ IPCC 気候変動に関する政府間パネル。世界気象機関(WMO)及び国連環境計画(UNEP)により1988年に設立された政府間組織で、2021年8月現在、195の国と地域が参加している。IPCCの目的は、各国政府の気候変動に関する政策に科学的な基礎を与えること。